

# 環境教育 「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878



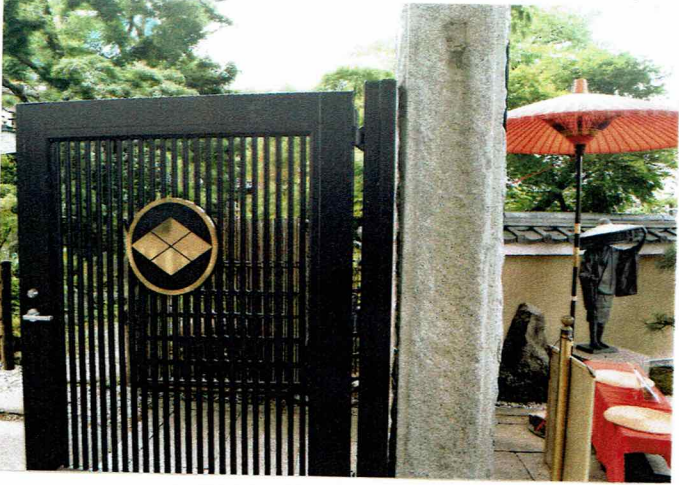
城の中で私は選ぶ。名城は安土城と古宮城の二つである。  
**信玄の卓越した築城術**  
 古宮城入口に立った時、この空気に身振した。  
 一五七五(天正三)年五月三日、現在の愛知新城市設楽多原で、織田信長・徳川家康連合軍と三万八千と武田勝頼軍一万五千が激突した。日本史上に名高い長篠合戦であった。  
 南北に小さな遠呂川が流れる狭い谷を挟んで両軍は戦った。互いの陣地から敵の顔が見えるほどで、現地に立つとあまりにも近い距離感に驚いた。武田氏が東三河にどのような城を築いたかは、歴史を読み解く重要な史料になる。そこで注目したいのが、新城市作手にある古宮城である。作手は長篠城の北西にあり、南に下れば新城市の野田城へ、西に進めば岡崎城へ達した交通の要だった。  
 長篠合戦の四年前、武田信玄が命じて重臣馬場信春が古宮城を築いた。ここを叩きつけた信玄、勝頼は吉田(安知算書橋)方面への進出はもうまく家康の急ぎ信康が守った西三河の最重要城郭岡崎城への直接攻撃の足かりも確保した。家康・信康が感じた危機感は想像をたもたつたであろう。  
 現地の城跡を歩いて庄巻のは、近隣中央で城を東西に直ぐ二つに分断した巨大な空堀がある。堀の西側を前衛空間

堀の西側を前衛空間



信松院正門  
 武田城は白ひがし田の紋のある  
 城市にある。

堀の西側を前衛空間に  
 直衛も本丸な  
 ど中心空間は  
 機能分けた明  
 設は、全国の戦  
 国城郭のなか  
 でも卓越した  
 土を掘り、土を盛  
 り上げて造成さ  
 せた古宮城の  
 緻密な構えは  
 土の城造り  
 と異なり、その  
 城を築いたか  
 ら、信玄が  
 築いた信長  
 城の築城術  
 戦国指導  
 展覧会あり  
 信玄の城の最  
 高傑作は新  
 城市にある。



古宮神社  
 白鳥神社から見え



古宮城址